

## 外国語学部

### 【アドミッション・ポリシー】

大阪大学のアドミッション・ポリシーを受けて外国語学部では、特に自国と外国の言語・文化・社会に強い関心を持つ、次のような学生を受け入れます。

- さまざまな文化背景を持つ人々とコミュニケーションをとることができる能力を身につけたい人
- 世界の言語・文化・社会に関する専門的な知識を身につけたい人
- 外国語を駆使して、外国の文化や社会の研究をしたい人
- 外国の言語や文化・社会に対する理解を通じて、自国の言語や文化・社会を探求したい人
- 異文化間の対話と相互理解を深める架け橋になりたい人
- 世界的規模の諸問題を解決するために、国際的な協力を推進したい人

外国語学部での学びによって上記のような能力と知識を身につけるために必要な言語の基礎的能力と文化一般に関する基礎知識を備えているかを確認するため、以下のような入試を行います。

1. 一般入試においては、大学入試センター試験と個別学力検査を通して、高等学校等において履修する国語、地理歴史・公民、理科、数学、外国語に関する知識と理解度を判定します。
2. A〇入試を実施し、高等学校の調査書もしくは国際バカロレア資格証書・成績証明書、TOEFL等の検定試験の成績証明書、志望理由書や高等学校の長が作成する志願者評価書、志願者の多様な優れた資質を証明する書類（高い語学力を証明する書類や高等学校等での自由研究や課題研究の実績を証明する書類、海外研修や留学の事実を証明する書類、高度なリーダーシップ経験や社会貢献活動での卓越した成果を証明する書類等）、さらに小論文や口頭試問、大学入試センター試験を通して、多角的、総合的に合否判定を行います。
3. 帰国生徒特別入試と私費外国人留学生特別入試を実施し、前者は外国語と国語（小論文を含む）の筆記試験及び口頭試問、後者は日本留学試験と TOEFL の成績（一部の専攻を除く）、英語と日本語の筆記試験及び口頭試問を通して、外国語学部での学びに必要な日本語能力と論理的思考力を身につけているかを判定します。
4. 3年次編入学試験を実施し、筆記試験（志願する専攻言語）と口述試験を通して合否判定を行います。
5. 上記の入試における英語の試験ではリスニングテストも行います（A〇入試、私費外国人留学生特別入試の一部を除く）。